

パーキンソン病患者自己評価スケール

MASAC-PD31

- この質問票は患者さんが日常生活の中で、どのようなことでお困りになっているかをお聞きするためのものです。
- 質問は全部で 31 問です。
- 質問票にご回答を頂くことで、皆様の治療に不都合になることは決してございませんので、安心してお答え下さい。
- この回答をもとに、今後の皆様への治療に役立たせていただく予定でございます。
- この質問票は患者さんご自身に記入いただくものですが、診察時に担当医師との相談にご利用いただくことができます。



【記入の方法】

各質問に対して、今日を含む最近 1 週間のご自分の日常生活の状態に最も近いもの 1 つを選んで番号を記入して下さい。

記入日: 年 月 日

お名前:

Part I

各質問について、今日を含む最近 1 週間のご自分の状態に最も近い番号を1つだけ選び、回答欄(□)の中に記入して下さい。

- 1)-① 1日のうちで薬が効いていない時間がありますか。
いずれか1つ番号を選び、回答欄(□)に記入して下さい。

【解説】パーキンソン病のお薬をのみ始めてから数年経つと、薬の効いている時間が短くなっていく場合があります。

【回答】

- 1: 1日中薬が効いていると実感できる、もしくは、1日中症状に変化がない
2: 1日のうちに薬の効果が切れる時間帯がある

回答欄

1を選んだ方 ⇒ 次ページの説明(ア)へお進み下さい。
2を選んだ方 ⇒ 以下の質問にもお答え下さい。

- 1)-② 1日のうちで薬が効いていない時間はどれくらいありますか。
いずれか1つ番号を選び、回答欄(□)に記入して下さい。

【回答】

- 1: 1日のうち薬が効いていない時間が3時間未満ある
2: 1日のうち薬が効いていない時間が3時間以上ある
3: 動ける時間のほうが少ない

回答欄

⇒ 次ページの説明(イ)へお進み下さい。

(ア)

前のページ 1)-①の質問で、『1: 1日中薬が効いていると実感できる、もしくは、1日中症状に変化がない』を選んだ方へ

⇒ これ以降の質問では、最近1週間のご自分の状態に最も近い番号を1つだけ選び、「薬が効いているとき」の回答欄(□)のみに記入して下さい。

＜記入例＞

2) 歩行について

- 1: ほとんど問題なく歩ける
- 2: 長い距離で足を引きずることがあるが、歩ける
- 3: 付き添いあるいは杖・歩行器があれば歩ける
- 4: 車椅子が必要である

薬が効いているとき →

薬が効いていないとき →

ここは
記入しない

➡ 次ページへ

(イ)

前のページ 1)-①の質問で、『2: 1日のうちに薬の効果が切れる時間帯がある』を選んだ方へ

⇒ これ以降の質問では、最近1週間のご自分の状態に最も近いものを『薬が効いているとき』、『薬が効いていないとき』それぞれについて番号を選び、回答欄(□)に記入して下さい。

＜記入例＞

2) 歩行について

- 1: ほとんど問題なく歩ける
- 2: 長い距離で足を引きずることがあるが、歩ける
- 3: 付き添いあるいは杖・歩行器があれば歩ける
- 4: 車椅子が必要である

薬が効いているとき →

薬が効いていないとき →

➡ 次ページへ

各質問について、今日を含む最近 1 週間のご自分の状態に最も近い番号を選び、回答欄(□)の中に記入して下さい。

2) 歩行について

- 1: ほとんど問題なく歩ける
- 2: 長い距離で足を引きずることがあるが、1人で歩ける
- 3: 付き添いあるいは杖・歩行器があれば歩ける
- 4: 車椅子が必要である

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

3) 歩行時のすくみについて

【解説】あたかも足が地面に吸い付けられたかのように動かなくなる状態で、歩行開始時、障害物のあるところや狭い場所を通り抜けようとした時、方向転換時などに生じます。床に目印を見つけてそれを股ごうとすることで、足がスムーズに出ることがあります。

- 1: すくみはほとんどなく、歩くことができる
- 2: 歩行開始時に足がすくむことがある
- 3: 歩行開始時に限らず、すくむことが多い
- 4: すくみのため、ほとんど歩けない

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

4) 転倒について

- 1: 転倒することはない
- 2: 転倒することもあるが、1日に1回以下である
- 3: 1日に数回は転倒する
- 4: 転倒することが怖いので、1人で歩くことはしない

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

5) ふるえについて

- 1: ふるえはほとんどない
- 2: ふるえが時々ある／例えば緊張時のみにふるえる
- 3: 1日中ふるえが止まらないが、日常生活はなんとかできる
- 4: 常にふるえがひどく、日常生活に困っている

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

6) 姿勢について

- 1: 家人や周囲の人に「前かがみである」と指摘をされることはない
- 2: 家人や周囲の人に「前かがみである」と指摘をされるが自覚はない
- 3: 明らかに前かがみで、それを自覚している
- 4: 斜めに前かがみ(右前もしくは左前方向)である

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

7) 会話について

- 1: ほとんど問題なく会話できる
- 2: 話しにくい聞き返されることはない
- 3: 小声やどもりや早口などで、聞き返されることが時々ある
- 4: 自分の話すことが相手にほとんど通じない

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

8) よだれについて

- 1: ほとんど問題がない
- 2: 口の中につばがたまっている感じはあるが、困らない
- 3: 意識しないと、よだれがたれることがある
- 4: よだれがひどく、常にハンカチやティッシュを身近に置いている

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

9) 食べ物の飲み込みについて

- 1: ほとんどむせることはない
- 2: やわらかいものや小さく切ってあれば飲み込めるが、時々むせることもある
- 3: 水だとむせるが、ペースト状の食事ならむせない
- 4: すべての食事でむせることがある

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

10) 食事の動作について

- 1: 箸を使い、普通に食べることができる
- 2: 箸は使えるが、時々こぼしたり、手を伸ばして取ったりすることは難しい
- 3: スプーン、フォークならば食事が可能である
- 4: 食事には一部、介助が必要である

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

11) 書字について

- 1: 書字に問題はない
- 2: 少し書きにくい
- 3: どうにか書くことができる
- 4: ほとんど書くことができない／ほとんど書くことをしない

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

12) 自宅トイレについて

- 1: 特に問題なく、トイレができる
- 2: トイレはなんとか1人でできる
- 3: 一部介助、または用具が必要である
- 4: すべてに介助が必要である

薬が効いているとき → 薬が効いていないとき →
(1)-①で1を選んだ方は記入不要)

次の質問以降は、回答欄が1つになります。

薬が効いているとき、効いていないときにかかわらず、
今日を含む最近 1 週間のご自分の状態に最も近い番号を
1つだけ選び、回答欄(□)の中に記入して下さい。

13) ジスキネジアについて

【解説】くすりがよく効いているときに出やすく、ご本人の意志とは関係なく、勝手に頭、手足、体が不規則にくねくね動くこと。時には、薬の効果が出始めるときや切れるときに出現することもあります。ただし、手足の“ふるえ”(振戦)や、早朝や夜間に足がつるような“ジストニア”とは異なります。

- 1: ジスキネジアはない
- 2: ジスキネジアを周囲の人に指摘されるが、日常生活に不自由はない
- 3: ジスキネジアがあっても、日常生活に不自由はないが、不快である
- 4: ジスキネジアのために、日常生活に困っている

回答

14) 起床時の状態について

- 1: ほとんど問題なく起き上がれる
- 2: なんとか 1 人で起き上がることができる
- 3: ときどき介助が必要である
- 4: ほとんど介助がないと起き上がれない

回答

Part II

15) 寝つきについて

- 1: 寝床につけば、すぐに眠れる
- 2: 時々30分以内に眠れないことがある
- 3: 30分以内に眠れないことが多い
- 4: 睡眠薬を飲んでいる

回答

16) 睡眠時間について

- 1: 睡眠に関しては問題がない／一度眠れば朝まで
目が覚めることはほとんどない
- 2: 夜間や早朝に目が覚めることがあるが、
その後眠ることができる
- 3: 夜間や早朝に目が覚めることがあり、
その後眠れないことが多い
- 4: 毎日のように夜間や早朝に目が覚めて、その後眠れない

回答

17) 日中の眠気について

- 1: 日中にウトウトすることはない
- 2: 食後にウトウトすることが多い
- 3: 空腹時にもウトウトすることが多い
- 4: 食事中にもウトウトすることが多い／1日中ウトウトしている

回答

18) 就寝中の尿意について

- 1: 就寝中の尿意で問題となることは、ほとんどない
- 2: トイレに行きたくなって、1～2回くらい目が覚める
- 3: トイレに行きたくなって、3回以上目が覚める
- 4: 失禁してしまうことがある（おむつの使用も含む）

回答

19) 夜間の手足のムズムズ感(虫がはうような不快感)について

【解説】足の内部を虫がはうような不快感で、この感覚から逃れるために脚を動かさずにはいられないようになること。正座した後のしびれに似た、じんじん・びりびり感、筋肉のけいれん、痛みといった他の種類の不快な感覚をとまなうこともあります。

- 1: 夜間に手足がムズムズすることはない
- 2: 時々、夜間に手足がムズムズすることがある
- 3: 夜間に手足がムズムズして、手足が動いてしまうことがある
- 4: 毎晩、手足がムズムズして、手足が動いて眠れない

回答

20) 就寝中の問題について(ご家族の方からの指摘も含む)

- 1: 就寝中に問題はない
- 2: 生々しく怖い夢をみることが多い
- 3: 時々、眠っているときに大声をあげることがある
- 4: 周りの人を蹴ったり、自分を傷つけることがある

回答

21) 便秘について

- 1: 便秘ではない
- 2: 便秘だが、便秘薬は使用していない
- 3: 便秘薬を使用している
- 4: 浣腸が必要である

回答

22) 立ちくらみについて

- 1: 急に立ち上がってもクラクラすることはほとんどない
- 2: 急に立ち上がると目の前が暗くなること
1日に数回ある
- 3: 急に立ち上がると毎回のように目の前が暗くなるが
失神はしない
- 4: 急に立ち上がると失神することがある

回答

23) 発汗について

- 1: ほとんど問題がない
- 2: 少々の暑さでも他人より発汗が多い
- 3: 気温に関係なく、汗で服やシーツがぬれることがある
- 4: 汗のために1日に何回も服を変える必要がある

回答

24) 物忘れについて

- 1: 物忘れはほとんどない
- 2: 昔のことはよく覚えているが、最近のことは時々忘れる
- 3: 物忘れのために他人の手助けが必要だが、
日常生活に困らない
- 4: 食事をしたことを忘れるなど、日常生活に支障をきたしている

回答

25) 幻覚について

- 1: そこにいないはずの人や物が見えることは、
ほとんどない
- 2: 時々、そこにいないはずの人や物が見えるが怖くない
- 3: 時々、そこにいないはずの人や物が見え、恐怖感をともなう
- 4: 常時、そこにいないはずの人や物におびえている

回答

26) ゆううつな気分について

- 1: ゆううつになることは、ほとんどない
- 2: たまに気分が沈んで、ゆううつなことがある
- 3: しばしば気分が沈んで、ゆううつなことがある
- 4: いつも気分が沈んで、ゆううつである

回答

27) 意欲について

- 1: やる気がある
- 2: 消極的である
- 3: 他人の指示で動くのみである
- 4: いろいろなことにまったく興味を示さない

回答

28) 性的欲求について

- 1: 問題がない
- 2: 問題がある

回答

29) においについて

- 1: ほとんど問題がない
- 2: においを感じにくい

回答

30) 疲労感(だるさ)について

- 1: 疲れを感じることは、ほとんどない
- 2: 疲れやすいが、休めば回復する
- 3: 疲れが回復せず、常に疲れていると感じている

回答

31) 足のむくみについて

- 1: 足がむくむことはない
- 2: 足がむくむことがある

回答

1)～31)の項目の中で、特に困っている症状、あるいは担当の医師に知ってほしい症状がございましたら、ご記入ください。

これで質問は終わりです。

あなた様とは関係のない問題や、今後とも関係しない問題に関するもお尋ねしたかもしれませんが、すべての患者さんにおいて、これらのすべての問題が発生するというわけではありません。

ご記入ありがとうございました。



